

政策	4 環境にやさしい港	施策推進 責任者	企画調整室長 総合開発担当部長
基本施策	05 人と自然にやさしい港湾環境づくり		
個別施策	17 良好な港湾空間を維持・創出する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、就業者								
	サービスの対象物(何を)	名古屋港の環境								
意図(どういう状態にしたいのか)	良好な状態に維持又は回復させる									
内容	環境と共生する港湾の形成に向け、利用や機能が低下している港湾緑地においては、高質化などによる機能向上や緑地の再生・創出を図るとともに、富栄養化が顕著である水域においては浄化対策を行うなど、自然環境を良好な状態に維持、回復させるようにしていきます。									
目標	名古屋港緑化計画における緑地整備面積282haを目指します。	目標達成に影響する外的要因等								
成果指標	実績等	年度	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	目標 平成25	指標の説明(式)
名古屋港緑化計画における緑地整備面積	実績	ha	253	253	253	253	253	253	282	中川運河の緑地整備(進捗率:52%)が完了次第、実績に追加する予定です。
	達成率	%	89.7	89.7	89.7	89.7	89.7	89.7		
水域環境の把握件数	実績	件	60	60	60	60	60	60	60	10地点×6項目
	達成率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

2. DO(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な活動・成果指標	平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度						事業費の合計	目標値(年度)	平成25年度実施事業に基づく評価結果				
					実績	実績	実績	実績	実績	実績見込み			平成25年度までの状況※1	平成26年度以降の取組の方向性	成果※3	コスト※4	備考(判断の理由等)
					上段:指標達成状況												
環境担当	(企画調整室)	緑地配置計画の策定(港湾計画の策定)(個17事01)	環境機能の向上、ふ頭特性を見据えた緑地の配置や機能の転換など、緑地の配置を検討します。	策定進捗率(%)	18.5	21.4	24.3	27.1	35.7	42.9	83,623	100 累計(H25)	遅れ	延伸・統合	→	・社会情勢の変化等を踏まえ、これまで取りまとめた基本方針や施策展開等の検証を行っていくため。(H25→H27に延伸) ・港湾計画の策定に係る事業として統合。	
					1,754	1,716	11,336	11,600	39,339	17,878							
環境担当	(企画調整室)	海浜計画の策定(港湾計画の策定)(個17事02)	名古屋港における海浜の現状分析を行い、他の施設計画との整合を取りながら、港内における海浜の配置を検討します。	策定進捗率(%)	18.5	21.4	24.3	27.1	35.7	42.9	81,932	100 累計(H25)	遅れ	延伸・統合	→	・社会情勢の変化等を踏まえ、これまで取りまとめた基本方針や施策展開等の検証を行っていくため。(H25→H27に延伸) ・港湾計画の策定に係る事業として統合。	
					2,631	858	10,488	10,738	39,339	17,878							
事業担当	(企画調整室)	中川運河緑地(堀止地区)整備事業【再掲】(個17事03)	地域環境の向上を図るため、ささしまライブ24と連携を図りながら中川運河(堀止地区)の緑地整備を行います。規模:1.1ha	事業進捗率(%)	0.8	2.1	6.4	11.9	34.0	52.0	(460,356)	100 累計(H28)	順調			【本掲】個12事02にて評価する。	
					(5,400)	(16,352)	(38,663)	(58,733)	(192,118)	(156,714)							
環境担当	(企画調整室)	中川運河(堀止地区等)水環境改善計画の策定(個17事04)	中川運河(堀止地区等)の水環境改善のための計画策定に向けた調整をします。	策定進捗率(%)	50.0	87.5	93.8	96.3	77.5	100.0	86,593	100 累計(H26)	順調	完了		水環境改善計画を策定し、目標を達成したため。	
					18,819	15,582	4,834	4,913	9,670	32,775							
計画担当	(企画調整室)	港湾計画の変更に係る環境影響評価(港湾計画の策定)(個17事05)	港湾計画の変更箇所について、あらかじめ環境への影響評価を行うことにより、港湾計画を環境に配慮した計画とするものです。	作業進捗率(%)	29.2	29.2	29.2	37.5	45.8	49.1	51,359	100 累計(H25)	遅れ	延伸・統合	→	・社会情勢の変化等を踏まえ、これまで取りまとめた基本方針や施策展開等の検証を行っていくため。(H25→H27に延伸) ・港湾計画の策定に係る事業として統合。	
					877	3,433	5,089	6,930	19,162	15,868							
事業担当	(企画調整室)	公有水面の埋立に係る環境影響評価(福永ふ頭地区)(個17事06)	公有水面の埋立箇所について、あらかじめ環境への影響評価を行うことにより、公有水面の埋立事業を、環境に配慮した事業とするものです。(第1貯木場南:H20～21、福永ふ頭H21～23)	作業進捗率(福永ふ頭)(%)		0.0	20.0	100.0			77,626	100 累計(H23)	完了			目標を達成したため。	
						10,813	29,202	37,611									
環境担当	(企画調整室)	港内の水底質のモニタリング(個17事07)	水域の水および水底土砂の調査を実施します。	測定計画に基づく調査の履行率(%)	100.0	96.2	100.0	94.7	88.2	77.8	73,442	100 (継続)	順調	継続・統合	→	→	・底層溶存酸素調査や浚渫工事等にかかる底質調査は、国の指針や港内工事許可を得る上で引き続き取り組む必要があるため。 ・港内環境の監視に係る事業として統合。
					21,487	21,026	14,506	9,961	3,144	3,318							
環境担当	(企画調整室)	大江川、7・8号地間運河の監視(個17事08)	公害防止事業により敷設されたアスファルトマットの状態を視視、潜水土及び音響測深機等によって点検を行うとともに、年4回定点にて採水し有害物質等の調査を実施します。	異常個所の発見状況(回)	0	0	0	0	0	0	21,455	0 (継続)	順調	継続・統合	→	→	・引き続き、継続して取り組んでいく必要があるため。 ・港内環境の監視に係る事業として統合。
					5,262	5,149	3,232	2,626	1,973	3,213							
環境担当	(企画調整室)	港湾環境啓発活動の推進(個17事09)	環境学習への協力や各種イベント等の機会を活かし、パンフレット配布等の環境啓発活動を行います。	パンフレット等の受取人数(人)	1,900	750	6,250	800	1,300	1,027	24,453	1,400 (継続)	順調	継続	→	→	環境啓発活動は継続的に取り組む必要があるため。
					2,101	1,428	8,775	5,320	4,120	2,709							
事業担当	(企画調整室)	金城ふ頭中央緑地整備事業【再掲】(個17事10)	地域環境の向上を図るため、金城ふ頭中央緑地の整備を行います。規模:1.0ha	事業進捗率(%)		8.3	32.5	100.0			(88,631)	100 累計(H23)	完了			【本掲】個12事10にて評価する。	
						(6,000)	(21,624)	(61,007)									
(建設部)	金城・南5区開発担当	南5区Ⅲ工区緑地の基本計画の策定(個17事11)	南5区Ⅲ工区において緑地の基本計画を策定します。	Ⅲ工区緑地基本計画の策定(件)			1				9,313	1 (H22)	完了			目標を達成したため。	
							9,313										
環境担当	(企画調整室)	放射線量の測定(個17事12)	平成23年4月、国土交通省より「港湾における放射線対策について」が発表されたことに対応して、名古屋港内において、空間放射線量及び海水中の放射性物質の測定を定期的に行い、測定結果を公表します。	空間放射線量及び海水中の放射性物質の測定回数(回)				2	12	13	5,897	12 (継続)	順調	継続 統合	→	→	・引き続き、継続して取り組んでいく必要があるため。 ・港内環境の監視に係る事業として統合。
								930	2,567	2,400							
施策コスト(事業費合計)					52,931	60,005	96,775	90,629	119,314	96,039	515,693						

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。
注)目標値欄の「(継続)」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則として平成25年度を中間目標として設定しています。

※1

記入	内容
完了	前年度以前に完了した事業
順調	80%の進捗度合
やや遅れ	60%以上の進捗度合
遅れ	60%未満の進捗度合

※2

記入	内容
継続	施策の成果向上・維持のため、事務事業を継続することが妥当
完了	目的を達成したため、事務事業を完了することが妥当
延伸	状況を勘案し、目標年度を先送りするもの
統合	他の事業とまとめ、一体的に評価することが妥当
休廃止	終期を設定し事務事業を廃止または休止することが妥当

※3

記入	内容
拡大	何らかの改善策の実施により成果の拡大を必要とするもの
維持	従来どおり進めていくもの
縮小	一定の成果を達成、必要性が薄れているなどの理由で成果を縮小するもの

※4

記入	内容
拡大	成果の拡大(または維持)のためにコストの拡大を必要とするもの
維持	従来どおり進めていくもの
縮小	一定の成果を達成、必要性が薄れているなどの理由でコスト縮減を図るもの

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

次期政策体系への方向性	「次期政策体系への方向性」を判断した理由(本組合財政収支への影響の考察を含む)
成果※3	コスト※4
→	→
・現政策体系のもと、港湾の環境共生に係る各施策に加え、中川運河の水環境改善計画を取りまとめてきましたが、次期政策体系においては、その事業化に向けて、新たな投資も必要となるため。	
次期政策体系への展開(個別施策の構成、新規事業の創出、事務事業の見直し等)	
・緑地配置計画及び海浜計画の策定(港湾計画)については、これまでに取りまとめた基本方針や施策展開の検証などを行い、平成27年度の改訂を目標に取り組んでいきます。	
・県・市民の関心の高い環境関連施策は、限られた財源の中で着実に取り組んでいきます。	
・中川運河水環境改善施策については、事業化に向けて、引き続き関係者調整を行っていきます。	
・港内の底層溶存酸素量などの調査は引き続き実施していきます。	

3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

現政策体系における主な取組など	現政策体系における課題認識など
・緑地配置計画及び海浜計画の策定(港湾計画の策定)については、パブリックコメント等を実施し、基本計画の方針、施策展開について検討しましたが、国の新たな成長戦略や総合物流施策大綱など、将来動向を見極めながら計画内容を検証していくこととしたため、平成25年度の改訂は行いませんでした。	・緑地配置計画及び海浜計画の策定(港湾計画の策定)については、平成27年度の改訂を目標に取り組んでいく必要があります。
・中川運河の水環境改善に向けて、学識者等による委員会を設置し、水環境改善のシミュレーション調査や施策の検討を行い、水環境改善計画を策定しました。	・中川運河の水環境改善施策については、計画を策定したので、早期の実現に向け、引き続き関係者調整を図り、事業の具体化を図る必要があります。
・公共用水域の水質調査は、平成24年度より愛知県及び名古屋市に移行しました。港内の底層溶存酸素量の調査は引き続き7地点で12回実施しました。なお港内底質土砂の調査は、3箇所で行いました。	
・大江川、7・8号地間運河においては、点検によりアスファルトマットの予防保全の必要があると判断したため、補修を行いました。	
現政策体系における事務事業の適正性	
・事務事業構成は妥当です。	